

乙女高原ファンクラブ 2025年度

活動報告(ダイジェスト版) 2025.3.~2026.2.

■こんな1年間でした

1. 1年間で44名の入会者があり、現在、総入会者数は959名
2. 活動への参加者数はのべ1071人。昨年度1242人より175人(14%)減。クマ心配による笛川小ボランティア体験・草刈りボランティアの中止が原因だと思われる
3. 毎月第1土曜に乙女高原へ行く自然観察交流会を実施10年目
4. 環境省/日本自然保護協会:モニタリング1000里地里山調査ヤマアカガエル産卵調査11年目。合計18腹(15年:42腹,16:29,17:25,18:35,19:22,20:22,21:20,22:25,23:18,24:25)
5. 山梨市駅前の街の駅にて、乙女高原の常設展示9年目。シーズン47:カヤネズミ, S48:スマイレ, S49:蝶, S50:草刈りボラ, S51:材ハギボウシ, S52:宇津チョウI, S53:宇津チョウII
6. 第26回遊歩道作りは5/11に実施。参加者67人(去年は76人)
7. 4/21からヒメギフチョウ産卵調査・幼虫調査・ウスバサイシン葉数調査
8. 高槻さん指導の訪花昆虫調査5/25,6/12,7/23,8/17,9/13,10/8に実施。のべ51人
9. 第6期乙女高原案内人養成講座を5/25,6/8,7/27に実施。新案内人15人
10. 6・8・9月と、年3回のマルハナバチ調査を実施。23年目。参加者のべ57人
11. 7/19、夏休みの前に有志で遊歩道の草刈りを実施
12. 夏休みのボランティアガイド復活10年目。土日を中心に計7日間実施
13. 7/20、宇津さんを講師に乙女高原案内人研修会「チョウの観察会」を実施
14. 8/24、ロッジ倉庫に眠っていた樹名板のうち48枚を遊歩道に沿って設置
15. 9/20、高槻さん指導の植生調査を行った。11期目
16. 笛川小3,4年生と日下部小4年生の自然観察学習を教室や乙女高原で計5回行った
17. 第24回草刈りボランティアを11/23に実施予定だったがクマ心配のため中止。ファンクラブが呼びかけ、有志による草刈りを4日実施。参加者のべ109人
18. 第23回乙女高原フォーラムは1/25に「乙女高原のチョウと生物多様性」をテーマに、北原 正彦さんをゲストに行った。参加者82人
19. 次の団体から助成金を拝受した
山梨市/乙女高原保護活動事業補助金(7万円)、富士フィルムビジネスイノベーション(10万円)、ザ・ビッグ/イオン石和店(1万円)、田丸グリーン基金(10万円)、ハウジングアンドコミュニティ財団/住まいとコミュニティづくり活動助成(58万円)
20. 4/10, 5/15, 7/10, 10/9, 11/13, 12/11, 1/15と計7回の乙女高原連絡会議・世話人会を開催。連絡会議は山梨県・山梨市の担当者を交えて開催した
21. 会報「乙女高原が好き!」を年4回発行。鈴木さん・井上さん・廣瀬さんが編集, 芳賀さん・三枝さんが印刷, 加藤さん・廣瀬さん・山本さん・芳賀さんが発送を担当
22. メールマガジンを577号以降, 年37回配信した。ホームページを更新
23. 2009年に始めたデータロガーによる気温の計測を継続。16年目
24. 今年度の乙女高原フェロー該当者は8名だった(総計38人)
25. カラーの入会パンフレットを作成した
26. 遊歩道づくり, 草刈りボランティア, 乙女高原フォーラムは県・市との共催事業として実施。今後とも行政との協働で乙女高原の自然を守り育てていきたい

■ 1年間のおもな活動の足跡 乙女高原ファンクラブ 2025

■ 3/16 2024年度定期総会



山梨市役所牧丘支所 2階集会室にて。参加者 23 人(他に委任状による参加 145 人)。山梨市長・高木様、峡東林務事務所長・深水様より祝辞をいただいた。案内人養成講座の開催が承認された

■ 4/5 ヤマアカガエル産卵調査



環境省と日本自然保護協会による「モニタリング 1000 里地調査・アカガエル産卵調査」への参画。11 年目。4/5, 4/20, 5/1, 5/13 に調査。のべ 11 人。計 18 の卵塊をカウントした

■ 4/21 ヒメギフチョウ調査



昨年度に続いて卵と幼虫の状況を調査。加えてシカ食害の確認のためウスバサイシンの生育状況を調査。9 回。成虫も確認できた。なお、ヒメギフチョウが市の天然記念物に指定された

◆ 5/11 第 26 回遊歩道作り



計 67 人が参加。これと草刈り・フォーラムは山梨市・山梨県・乙女高原ファンクラブが協働で企画運営。午後は有志で外来種の駆除を行った。また、5/7 の準備には 16 人参加

■ 5/21 訪花昆虫調査①



麻布大学高槻研究室/加古さんが 2013 年に行った調査を 2020 年から高槻さん中心に再開。遊歩道を歩き全訪花昆虫を記録。5~10 月の毎月実施。のべ 51 人。写真は 6 月の調査説明の様子

■ 5/25 案内人養成講座①



受講者 15 人。1 日目は市民会館で、2 日目 6/8 と 3 日目 7/27 は乙女高原で。講師 8 人・スタッフのべ 40 人の協力により実施。ハウジングアンドコミュニティ財団より助成金をいただいた。

■ 6/29 マルハナバチ調べ隊①



15 人。紙芝居によるマルハナバチの生態説明後のラインセンサスで 15 頭をカウント。8/2 は参加者 24 人・ラインセンサス 93 頭、9/6 は 18 人・45 頭

■ 7/7 笛川小 4 年生の案内



4 年生 23 人を案内人 8 人で案内。他に 7/9 に笛川小 3 年生 25 人を 6 人で、9/3 に日下部小 68 人を 9 人で、9/9 に笛川小 3 年生を 7 人で案内。11/13 の笛川小 4 年生案内はクマ心配で中止

■ 7/19~ 案内人夏の案内活動



夏休み中の土日、乙女高原案内人有志が交代で、乙女高原の案内活動を実施。7 日間実施。案内人のべ 34 人参加。外来種の抜き取り等も行った。

■7/19 遊歩道の草刈り



11人。夏休みに備え、遊歩道内に生えてきた草を刈り、歩きやすくした。草刈りの他、外来植物の抜き取りも行った

■7/20 チョウの観察会



17人。乙女高原案内人の宇津さんを講師に乙女高原のチョウをじっくり観察。乙女高原案内人研修の一環として実施

■8/24 樹名板の設置作業



16名。ロッジ倉庫にあった樹名板のうち43枚を設置。杭作製は雨宮さん、樹名の確認は松澤さんをお願いした

■9/20 植生調査



7人。2015年に設置した総延長1kmのシカ柵が乙女高原の植生にどんな変化を及ぼすか調べるため、2015年から毎年1回9月に実施。高槻さんの指導のもと10ポイントで調査

■11/23 有志による草刈り



草刈りボランティアがクマ心配で中止となり、クラブが呼びかけて有志による草刈りを11/15, 11/23, 11/29, 12/9に実施。のべ109人

■12/6 自然観察交流会



毎月第一土曜日に道の駅に集合し、特にテーマを決めずに自然観察しながら乙女高原に向かう、気ままな会。他活動と兼ねて行うことも多かった

■1/21 高木市長との面談



実施できなかった草刈りボランティアの代わりに有志で草刈りを行ったことを市長に報告。ほかにも乙女高原の保全に関して懇談

■1/25 第23回乙女高原フォーラム



山梨市民会館。参加者82名。ゲストは北原さん。乙女高原のチョウ報告は宇津さん。クラブスタッフ22名。茶話会に28名、角田さん宅で行われた懇親会に15名が参加

■入会パンフレット(カラー)作成



カラー版の入会パンフレットを作った。また、フォームから入会手続きできるようにした。



■乙女高原ファンクラブの歴史

- 1998.8 乙女高原自然教育研究会執筆・写真・編集による『乙女高原フィールドガイド』発行。
1999.9 「乙女高原の森」連絡会議発足。 2000.3 乙女高原スキー場用地使用協議の廃止。
2000.11 第1回「乙女高原の草原を守る！」草刈りボランティア開催。
- 2001.4 乙女高原ファンクラブ発足** 発足記念映画会 吉永小百合主演『明日は咲こう花咲こう』
- 2001.5 草原内の遊歩道を全面的に改定。土壌流失のひどい遊歩道は閉鎖。新遊歩道開設。
2002.3 **新事業**・第1回乙女高原フォーラム開催（ゲストは西丸震哉さん）西丸流自然とのつきあい方
2002.11 やまなし山の日イベント大賞受賞（受賞対象は乙女高原自然講座）
2003.4 **新事業**・乙女高原案内人養成講座スタート（2003, 04, 05, 08, 24, 25年の6期）
2003.6 **新事業**・マルハナバチ調べ隊スタート。（毎年3回）
2004.1 やまなし環境財団より若宮賞受賞
2004.4 (株)田丸グリーン基金より協力参加費をいただく。（以後、毎年）
2004.6 **新事業**・イタドリ刈りスタート。（2007年まで4年間）
2004.7 乙女高原案内人による夏の自主インタープリテーション活動開始（以後、毎年）
2004.12 真っ赤になったグリーンロッジの屋根について町と町教育委員会に意見書提出
2005.4 「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰受賞
2006.1 **新事業**・山梨市民会館ロビーにて乙女高原展開催（以後、毎年）
2006.5 月に一度の乙女高原案内人勉強会スタート
2006.12 山梨鈴木助成事業財団の助成により『乙女高原案内人 誕生と成長の記録』刊行。
2007.6 全労済の助成金を活用し乙女高原フィールドガイドII『マルハナバチ』を作成。
2008.6 **新事業**・アサギマダラ調べ隊スタート（マーケティングされたチョウが兵庫・高知で再捕獲）
2009.4 (株)田丸グリーン基金を活用し、乙女高原フィールドガイドI『お花たち』を改訂増刷
2009.7 (社)関東建設弘済会「関東・水と緑のネットワーク拠点百選」に当選
2009.11 **新事業**・乙女高原に自動温度記録計設置（気温・地温）。計測スタート
2010.5 **新事業**・草原2箇所、湿地1箇所、計3箇所にシカ柵設置。以後、モニタリングを行う。
2010.11 乙女高原が山と溪谷社・日本山岳遺産基金による「日本山岳遺産」に認定される。
2011.5-6 3回のスマレ観察会を実施。
2011.6 麻布大学高槻研究室のシカ柵内外の植物調査に協力。
2011.11 東京農工大星野研究室・(株)田丸の協力で藁撒きプロジェクト(刈り草を残土処分場へ)を実施。
2012.1 乙女高原フィールドガイドIII『スマレ』を発行。
2012.8 自主的に百葉箱を設置、ベンチ・テーブルの修理と新設、案内板を修理。
2013.6 **新事業**・草刈りの時期を変えて草刈りの効果を確める刈り取り実験。
2013.11 11年分のメールマガジンを編集した『乙女高原大百科』を刊行。
2014.3 環境省/日本自然保護協会のモニタリング1000里地調査に参加。ヤマアカガエル産卵調査を開始。
2014.11※山梨ロータリークラブより乙女高原自然観察案内看板が寄贈される。
2015.8 **新事業**・谷地坊主の観察会
2015.11※乙女高原を取り囲むシカ柵完成（市の事業による）
2016.4 **新事業**・街の駅やまなしにて、乙女高原(ファンクラブ)の常設展開始
2016.11 **新事業**・草刈りボランティアに山梨市駅からの送迎バス運行
2017.4 **新事業**・乙女高原フェロー制度をスタート。2018年1月のフォーラムにて5人をフェロー認定
2018.2※「乙女高原の谷地坊主」が山梨市の天然記念物に指定される
2019.11 第20回草刈りを記念し13団体に感謝状と記念品贈呈。記念ステッカーを作成し、参加者に配布
2019.11※山梨ロータリークラブより谷地坊主看板が寄贈される。
2020-2021. 新型コロナウイルス感染防止のため、活動に様々な制限
- 2021.4 乙女高原ファンクラブ20周年** 2021.3 街の駅やまなしと山梨市民会館にて記念展
- 2021.10 恩賜林110周年記念式典にて感謝状を授与
2022.5~10 高槻先生主導の月例「訪花昆虫調査」実施（2023, 2024も）
2022.10※乙女高原が全国草原の里市町村連絡協議会の「未来に残したい草原の里100選」に選ばれた
2023.8 セルフガイド『乙女高原の自然観察』刊行
2024.5 改訂 乙女高原案内人養成講座テキスト『伝えることで守る乙女高原の自然』を刊行
2025.5※ヒメギフチョウが山梨市の天然記念物に指定された。後に甲府市でも指定
2025.8 遊歩道沿いに48枚の樹名板を設置
2025.11 クマ出没心配のため草刈りボランティア中止。有志による草刈りを呼びかけ、4日間実施

乙女高原ファンクラブへの連絡先

【事務局】植原 彰(方) 〒404-0013 山梨県山梨市牧丘町窪平 1110-3
TEL 090-7246-8625 FAX 0553-35-3682 電子メール otomefc@fruits.jp
ウェブページ <https://fruits.jp/~otomefc/>

- 郵便振込● (番号)00220-8-71093 (加入者名)乙女高原ファンクラブ
- ゆうちょ銀行●029店 当座預金 0071093 乙女高原ファンクラブ